

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/09/30号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



サウジの12月増産観測で急反落

NY原油先物相場は、1バレル=72.40ドルまで上昇して9月3日以来の高値を更新した後、68ドル水準まで急反落する展開になった。週前半は中国の景気刺激策を好感した買いが膨らみ、底固く推移した。非鉄金属相場などと連動して、安値修正が進んだ。しかし、週中盤以降は改めて需給緩和見通しを織り込む動きが優勢になり、70ドルの節目を完全に割り込む急落地合に転じた。サウジアラビアなど石油輸出国機構（OPEC）プラスが、12月から計画通りに減産縮小（＝増産）に踏み切るとの観測が強まった。

英紙フィナンシャル・タイムズ（FT）は、サウジアラビアが100ドルの非公式目標価格を取り下げ、市場シェアを維持するため原油価格の低迷を受け入れる方針転換を行ったと報じている。協調減産の成果が十分に得られない中、12月には計画通りに減産縮小に着手するとしている。サウジアラビアが本当に市場シェア維持に政策転換したのかは不透明だが、少なくとも12月に減産縮小が行われるとの見方が強化されていることはネガティブ材料視された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月20日時点）は、原油が前447万バレル減、ガソリンが154万バレル減、石油精製品が223万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

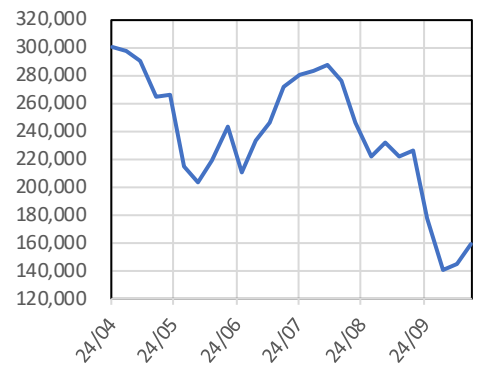
需給緩和見通しで上値重い、中国指標に要注意

需要不安を背景に上値の重い展開が続く見通し。中国政府が10月1日から始まる国慶節の連休を前に経済対策を打ち出したことはポジティブだが、石油需要見通しを大きく改善させることは難しいだろう。9月30日に中国経済指標の発表が集中するが、ここで景気減速懸念が裏付けられると、このまま60ドル台中盤から後半で上値の重い展開が続く可能性が高まる。直近安値65.27ドル水準を防衛できるか否かの目線に留まる見通し。

前週は、サウジアラビアの政策変更を巡る報道がみられた。サウジアラビアからは正式な発表は行われていないが、各種メディアの報道を総合すると、石油輸出国機構（OPEC）プラスが12月から計画通りに減産縮小に着手する可能性が高いことは確かなようだ。OPECプラスは、当初10月から予定していた減産縮小の開始時期を12月に先送りし、更なる政策調整にも含みを持たせていた。しかし、これ以上の先送りが行われないのであれば、12月以降はOPECプラスの供給量増大も、需給緩和圧力として働くことになる。OPECプラスの需給・価格管理の限界が意識され始めていることはネガティブ。

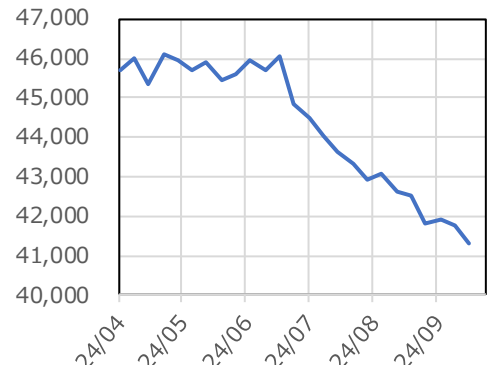
一方、中東ではイスラエルとレバノンの武装組織ヒズボラの戦闘が激化している。欧米などが停戦を呼び掛けているが、イスラエル軍はハマスに続いてヒズボラの掃討作戦を本格化し始めている。レバノンに地上部隊を投入する可能性も示唆されている。地政学リスクのみで原油相場を大きく押し上げるような動きは想定されていないが、仮に主要産油国イランが紛争に巻き込まれるような事態になると、急伸地合に転じる可能性があることは認識しておきたい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



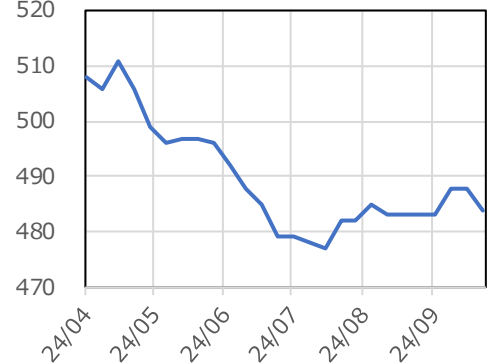
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

